岐阜工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	電気情報工学演習 I

科目基礎情報

科目番号	0069	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電気情報工学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	前期:2
教科書/教材			
担当教員	飯田 民夫,出口 利憲		

到達目標

電気、情報分野における演習問題に取り組み、演習問題を自ら考え解く力を身に着ける
岐阜高専ディプロマポリシー:(D)

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	演習問題を理解し説明することができる	演習問題を理解することができる	演習問題を理解することができない
評価項目2	演習問題の答を出すことができる	演習問題の答を求める方法がわかる	演習問題の答を求める方法がわからない
評価項目3	解答を正確に記述できる	答に至る過程を記述できる	答に至る過程を記述できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	電気電子、情報に関する演習問題に取組み、これまでに修得した応用できる知識を身に着ける。
授業の進め方・方法	この授業は演習を中心とした授業である。電気電子コースと情報コースで別々に専門科目の演習を行う。 (事前準備の学習)電気電子工学コースの学生は電気回路I，電気磁気学I，電子回路の復習を，情報工学コースの学生は論理学，プログラミング，計算機アーキテクチャの復習をしておくこと。
注意点	授業に主体的に参加し、演習問題を自力で解けるようになるだけでなく、他人にも説明できるまで理解度を高めることが望ましい。 授業の内容を確実に身につけるために、予習・復習が必須である

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス・授業の進め方 演習 1	授業のスケジュールと評価方法を理解する。 演習問題を解けるようにする。
		2週	演習 2	演習問題を解けるようにする。
		3週	演習 3	演習問題を解けるようにする。
		4週	演習 4	演習問題を解けるようにする。
		5週	演習 5	演習問題を解けるようにする。
		6週	演習 6	演習問題を解けるようにする。
		7週	演習 7	演習問題を解けるようにする。
		8週	演習 8	演習問題を解けるようにする。
	2ndQ	9週	演習 9	演習問題を解けるようにする。
		10週	演習10	演習問題を解けるようにする。
		11週	演習11	演習問題を解けるようにする。
		12週	演習12	演習問題を解けるようにする。
		13週	演習13	演習問題を解けるようにする。
		14週	演習14	演習問題を解けるようにする。
		15週	演習15	演習問題を解けるようにする。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	演習	合計
総合評価割合	100	100
得点	100	100